

名画のよさを伝える解説文を書こう ⑥

めあて

表現や構成を工夫して、解説文を書こう。

表現や構成を工夫して、選んだ名画のよさを伝える解説文を書こう。

ぼくは、これから、ダイヤのエースをもフイクサマ師
にフイッての解説文を書きます。

この絵は、1655年ごろ、ジョルジュ・ド・ラ・トゥール
という人物が描いた、思案が始まる瞬間です。
では、これがどんな絵なのか、わしく見ていきます。

中央の女の合図で、悪事が始まります。

グールの給仕女と手前の実行班の顔は陰になっ
て、彼らが良からぬ人種であることを示している

ようです。男はさりげなく稼いだ金を隠して

います。腰のバルトには隠していたダイヤの

エースが...
このように、なせのこのえは、一つの教訓として

描かれていて、それは悪意は、気がかぬ、つぎに

まぐそはまぐそ、てくるという、つぎに
この絵をかいた作者は、けいこくもまぜて
この、かき、な、絵をかいたのだ

【読み取ったことや感じたことを表す表現】を用いると、よい解説文になるよ。

- ・「読み取ったこと
- ・感じたことを表
- ・表現」
- ・まるで、のよう
- ・くに見える
- ・くと感じる
- ・見事だ
- ・のびのびとした
- ・くではないか
- ・くだろう
- ・伝わってくる
- ・など

見る場所や見る方向を表す言葉を使おうね。(～と見ると、など)呼びかけの文末(～見てください、など)を入れるのもいいね。

6年生の子が書いたワークです。絵を紹介しています。何となく、どんな絵なのかが頭に浮かびます。作文力が高まりますね。